

# 地域を【紐解く】 端緒としての Wikipediaタウンの取り組み



## 高橋 陽一

アーバンデータチャレンジ実行委員 (2013~)

Wikipediaタウン 二子玉川 (2013~)

GeoNames.jp (2015~)

LODチャレンジ実行委員 (2011~2015)

本編集著作物はクリエイティブ・コモンズ表示 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。ただし、本編集著作物に含まれる各素材については、個別に指定がある場合は、各々のライセンスに従うものとします。



# Wikipediaタウンを知る



マガジン  
[kō]  
FOR THE FUTURE  
OF THE BOOK

## 航

ウィキペディアを通じてわがまちを知る  
2015年5月7日  
posted by 小林巖生

いいね! 240 ツイート 62 8+1 0

ぼくがウィキペディアタウンを知ったのは2012年のことだったと思う。イギリスのモンマス (Monmouth) が世界初のウィキペディアタウンに認定されたというニュースがフェイスブックのタイムラインに流れてきたところ、偶然目とまったのだ。

参考: Welcome to the world's first Wikipedia Town (Wikimedia Blog)

モンマスはイギリスのウェールズ南東に位置する人口9千人弱の小さな田舎町で、11世紀初頭にノルマン人の軍事拠点として発祥。モンマス城をはじめ千年近くの歴史を持つ遺産が多く残されているらしい。そんなモンマスで、ある活動が立ち上がった。文化機関のスタッフや市民によるボランティアグループが名所旧跡や博物館の所蔵品など街の観光資源になりそうなあれこれについての記事や写真を次々にウィキペディアにアップロード。そして、ウィキペディアの記事へのリンクURLが仕込まれたQRコードを刻印したタイルを町のあちこちに掲出。スマホ等でQRコードを読み込むことで、対応するウィキペディア記事へと

検索:  検索

いいね! 丸山 英弘さん、くさか きょうはささん、他2,701人が「いいね!」をしています。

Information  
▶ 「マガジン」が再起動します

About Us  
このサイトについて

新着記事  
▶ 作家団体と書店組合が対アマゾンで手を取合う  
▶ 大学は「自由」だから面白い  
▶ 元少年A「絶望」の出版が投げかけたもの  
▶ Editor's note  
▶ 公共図書館はほんとうに本の敵?

小林巖生 「ウィキペディアを通じてわがまちを知る」  
2015年5月7日付 マガジン航  
(Copyright (C) KOBAYASHI Iwao 2015- All Rights Reserved)

日下 九八 「つながれインフォプロ 第18回」  
情報管理Vol. 57 (2014) No. 12 P 928-932  
(CC BY-SA 3.0 Unported)



情報管理 JOHO KANRI  
2015 vol.57 no.12  
Journal of Information Processing and Management

3 March <http://johokanri.jp/>

## Building networks among info pros つながれインフォプロ

第 18 回 日下 九八  
情報管理 57(12), 928-932, doi: 10.1241/johokanri.57.928 [http://dx.doi.org/10.1241/johokanri.57.928]

ぼくたちが住んでいる街には、ぼくたちが訪れる街には、さまざまな顔がある。歴史があり、自然があり、伝統があり、新しく生まれる建物や文化がある。これらは街の魅力として、住民の心の糧になり、あるいは観光資源にもなる。ありふれたもののように、1つひとつに個性がある。当たり前のように知っているつもりでも、調べてみると新しい発見がある。そうしたものの中には、地元の人知っているちょっとしたトリビアにすぎないものもあるし、身びいきで大層なものと思っても、やっぱりありふれたものにすぎないものもある。だけど、百科事典の記述として、あるいは単独項目として取り上げるに足るものだってたくさんある。

プロジェクトのはじまり  
「ウィキペディアタウン」<sup>2)</sup>と呼ばれるプロジェクトは、2012年にイギリス・ウェールズのモンマスで始まった。人口9,000人ほどの町に、無料のWi-Fiを設置し、博物館や学校など1,000か所の建造物・展示物に、ウィキペディアへの検索が行えるQRコードを付け、携帯電話、スマートフォンなどから簡単にアクセスできるようにした。ウィキペディアの編集者の提案によるもので、町議会の協力のもと、ボランティアが新たに約500項目の記事を執筆し、6か月かけて準備をしたという。続くプロジェクトがジブラルタルで始まったが、こちらは主導するウィキペディア編集者の中立性が問われ、ちょっとした騒動に発展した。

日本で行われている「ウィキペディアタウン」<sup>2)</sup>という試みは、こうした動きとはあまり関係なく始まった。2013年1月13日Facebookで、本エッセーの第5回でLinkedData.jpを紹介している加藤文彦さん<sup>3)</sup>から、こんなメッセージが飛んできた。

> ご存知かもしれませんが、2/23 (土) に International Open Data Day (http://opendataday.org/) というのがあります。世界中の都市でOpen Dataについてのイベントを行うというものです。  
> 横浜でもイベントを行うことになっていて、その中の一つとして、横浜の地域資源をWikipediaにアップするワークショップの企画が挙がっています。内容としては、1. Wikipediaのレクチャー 2. チームで調査・街歩き 3. Wikipediaに実際にハンズオンで書いていくといったことを考えています。  
> そこでご相談なのですが、Wikipediaについてのレクチャーやハンズオンについてくさかさんにお聞きできないでしょうか。もし無理でしたら他に適任の方を紹介していただけると大変助かります。また、申し訳ございませんが、無給であることをご了承ください。

もちろん、「いいですよー。喜んで!」と返信した。

本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示-継承 3.0 非移植 (CC BY-SA 3.0 Unported) ライセンスの下に提供する。

# Wikipediaタウンの骨子

ワークショップ/イベント形式で実施

事前準備

- ・対象地域資産の選定
- ・参考文献の用意

地域資産について

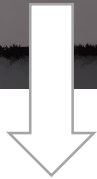
- ・見て（現地調査/写真）
- ・訊いて（郷土史会等）
- ・調べて（図書館文献）

その成果を  
Wikipediaの記事  
にまとめる

他の地域資産についても、引き続き&同様に！

# Wikipediaタウン/イベントの進行（例）

## ① ガイダンス/講演



## ② 現地調査/写真撮影

## OpenStreetMapマッピングパーティ との同時開催/共同作業がより効果的



## ③ 記事執筆&地図編集



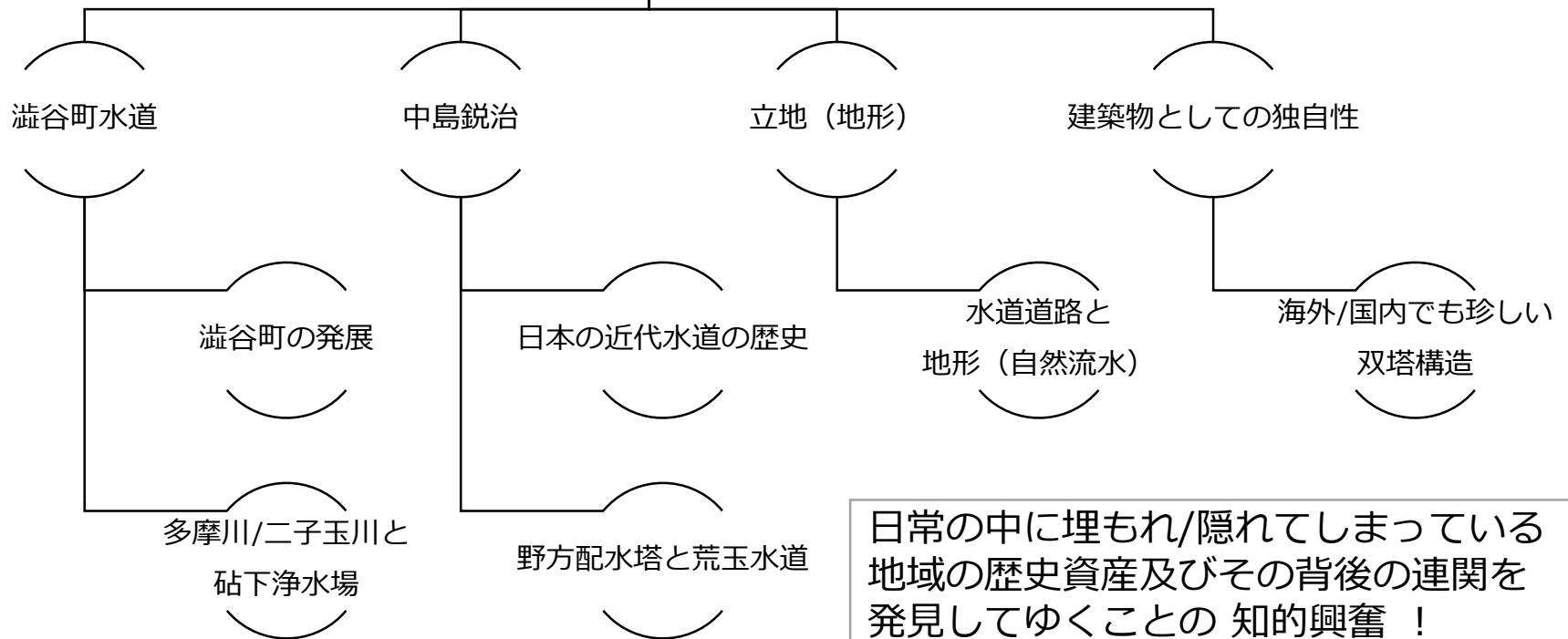
写真の原マテリアル（写真提供：[東急沿線情報サイト「とくらく」](#)）  
に対して人物が特定できないよう、画像の二次加工を行った

# 効能-1 地域を「紐解く」端緒に



駒沢給水塔

ひとつの地域資産の背景に  
潜む多様な要素



日常の中に埋もれ/隠れてしまっている  
地域の歴史資産及びその背後の連関を  
発見してゆくことの 知的興奮！

# 効能-2 多分野/多世代交流の契機に



## 二子玉川での印象的なシーン

- ・ 保存会/郷土史会のナレッジ  
×
- ・ Wikipedian & OSMマッパーのスキル  
×
- ・ 地域の様々な属性の参加者

### 二子玉川Wikipediaタウン開催に御協力頂いた皆様

- ・ クリエイティブ・シティ・コンソーシアム
- ・ 東京ウィキメディアン会
- ・ OpenStreetMap Foundation Japan
- ・ 横浜オープンデータソリューション発展委員会
  
- ・ 駒沢給水塔風景資産保存会
- ・ 世田谷トラストまちづくり
- ・ 土とみどりを守る会
- ・ 二子玉川商店街振興組合
- ・ 二子玉川郷土史会



写真の原マテリアル（写真提供：[東急沿線情報サイト「とくらく」](#)）  
に対して人物が特定できないよう、画像の二次加工を行った

# 効能-3 findability の向上に

検索語： 駒沢給水塔

Google 駒沢給水塔

ウェブ 地図 画像 ニュース 動画 もっと見る 検索ツール

約 19,900 件 (0.31 秒)

他のキーワード: 駒沢給水塔見学 駒沢給水塔 地図 駒沢給水塔風景資産保存会 弦巻 給水塔 駒沢給水塔場所

**駒沢給水塔風景資産保存会 - 愛称：コマQ**  
setagaya.kir.jp/koma-q/

駒沢給水塔風景資産保存会のホームページへようこそ！ 駒沢給水塔風景資産保存会（愛称：コマQ）は、価値ある近代建築遺産・土木遺構である駒沢給水塔とその庭園風景を多くの人に知ってもらい、世田谷の名所にするのをめざして活動しています。

**駒沢給水塔風景資産保存会 - 駒沢給水場施設の概要**  
setagaya.kir.jp/koma-q/modules/koma-q4/

駒沢給水場施設の概要。所在地 建設当時：東京府荏原郡駒澤村字新町（東京府荏原郡駒澤町字弦巻） 現在：東京都世田谷区弦巻2丁目41番 標高 46m（世田谷区内では最高地に近い地域です） ※渋谷町の最高地標高が約36mです。弦巻の丘に給水塔を ...

駒沢給水塔 の画像検索結果 画像を報告

駒沢給水塔で見つけた他の画像

**駒沢給水所**  
こまざわきゆうすいじょ

駒沢給水所は、東京都世田谷区弦巻にある東京都水道局の給水施設。旧渋谷町町営の給水所として使われていた。敷地内には、2002年12月に世田谷区の第一回地域風景資産に選定された駒沢給水塔がある。  
ウィキペディア

駒沢給水所  
住所  
電話  
クチ  
Go

オープンライセンスの百科事典であるため、各種ポータルサービス等への組み込みなど、積極的な二次利用が浸透





# 効能-4 図書館資料への導線に

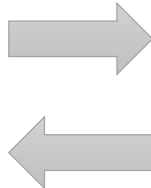
## 三次資料 (Wikipedia記事)



百科事典は三次資料

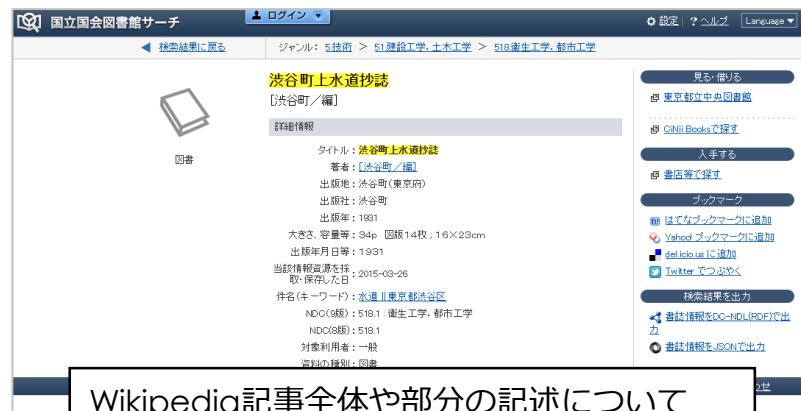
記事執筆に用いた二次資料を出典として明記  
(全国書誌番号、NDLJP等でのリンクも可能)

参考文献  
にリンク



二次資料  
を要約

## 二次資料 (図書館文献群)



Wikipedia記事全体や部分の記述について  
参考や出典として示された文献 (二次資料)

図書館資料/文献を  
利用する背景制約

- 「真実かどうか」ではなく「検証可能かどうか」
- ・ 信頼できる情報源を用い
  - ・ 出典を示す責任

- ✓ Wikipedia:独自研究は載せない
- ✓ Wikipedia:検証可能性

# 効能 + a 地域古写真のアーカイブ化

The screenshot shows the Wikimedia Commons interface for the category 'Futako-Tamagawa'. The page includes a sidebar with navigation options like 'Main Page', 'Community Portal', and 'Language Selection'. The main content area displays the category name, a search bar, and a list of sub-categories. A grid of image thumbnails is shown, each with a caption and file size. A dark text box is overlaid on the right side of the page.

Category: Futako-Tamagawa

出典: ウィキメディア・コモンズ (Wikimedia Commons)

Main Wikipedia article: [ja:二子玉川](#)

下位カテゴリ

このカテゴリに属する 2 個のサブカテゴリのうち、2 個を表示しています。

F

- ▶ Futako-Tamagawa Station (20ファイル)

T

- ▶ Tamagawa Takashimaya (4ファイル)

カテゴリ「Futako-Tamagawa」にあるメディア

このカテゴリに属する 78 個のファイルのうち、78 個を表示しています。

1952年二子玉川小学校.jpg 1.05メガバイト	1954年10月二子玉川.jpg 2.16メガバイト	1954年二子橋.jpg 298キロバイト	1968年の秋 二子玉川国駅砒線ホームにて.jpg 6.23メガバイト	1968年の秋 玉電瀬田駅を望む.jpg 6.51メガバイト	1968年の秋 砒線中耕地を望む.jpg 5.79メガバイト

https://commons.wikimedia.org/wiki/メインページ

地域住民が保有する古写真を  
Wikimediaコモンズに登録し  
デジタルアーカイブ化する活動を  
併せて実施するのも効果的

# 効能 + α 写真からの紐解き も有効

Author : 二子玉川商店街振興組合 (CC-BY-SA 4.0)



汎地域な風習の紐解き  
引き札 (開店のお祝い)

検索語例「引き札」

Author : 二子玉川商店街振興組合 (CC-BY-SA 4.0)



時代背景の紐解き  
高度成長期の多摩川 (環境汚染)

検索語例「多摩川 鮎」

# Wikipediaタウンから地域課題へ

地域資産固有の  
価値に気付く契  
機として

市民による地域  
オープンデータ  
作りの契機に

情報リテラシー  
教育への適用

図書館/文化施設  
の利活用促進に

多世代交流の  
契機として

失われてゆく地  
域資源の保存/活  
用の契機として

地域の  
地理/歴史を知る  
契機として

旧住民と新住民  
の対話の契機と  
して

地域課題との接点を作り  
解決への入り口になる可能性も

